

プレスリリース
報道関係者各位

日常に寄り添う日本の紙「3120・ウォーターマークシリーズ」 全国販売スタート

1300年続く和紙の産地、岐阜県のメーカー3社(家田紙工株式会社、古川紙工株式会社、丸重製紙企業組合)によるプロジェクト「3120 (サンイチニゼロ)」より、新商品「ウォーターマークシリーズ」の販売を開始いたします。

「3120 (サンイチニゼロ)」は、美濃で発展した製紙および紙加工技術を活かし、プロデューサーに萩原修氏を迎え、アーティストの高橋理子氏と共に、美濃和紙の新しい在り方を提案していくことを目的に発足しました。

美濃で培われた1300年の伝統と現代の技術を使い、日本の紙の文化と特徴を活かしながら、これからの暮らしにふさわしい紙製品を提案しています。

今回のシリーズでは、ノートやメモなど、暮らしの中で気軽に使用できるアイテムを取り揃えました。透かし模様を繊細かつ鮮明に美しく漉き上げるための型の開発に取り組み、万年筆でも滲まない日常使い可能な製品となっています。

【進化する透かしの紙を現代に活かすウォーターマーク シリーズ】

漉き入れ紙の伝統を継承する美濃和紙から、全面に透かしを入れた紙を使った新たな提案です。3120という数字から展開した柄、PRISM・BUBBLE・FORESTが、光と水と緑に寄り添う暮らしをイメージします。

※この漉き入れ紙をノートなどの本紙に使用しています。



NOTE FOLIO



WATERMARK PAPER

商品情報

- プロジェクト名 3120 (サンイチニゼロ)
- 商品展開 NOTE FOLIO : 9 sku NOTE DAILY : 6 sku TWO-SIDE MEMO : 3 sku
HUNG CARD : 3 sku SQUARE PAPER BAG : 2 sku 計 : 23 sku
- 価格帯 420円~1680 円 (税込)
- 発売元 古川紙工株式会社
〒501-3784 岐阜県美濃市御手洗東谷23番地 Tel: 0575-37-2319 Fax: 0575-37-2193

関係者プロフィール

家田紙工株式会社
<http://www.iedashikou.com/>



古川紙工株式会社
<http://www.furukawashiko.com/>



丸重製紙企業組合
<http://marujiyu-mino.com/>



アートディレクション/デザイン TAKAHASHI HIROKO 高橋 理子

アーティスト。
1977年生まれ。東京藝術大学大学院博士課程修了。博士号(美術)取得。2006年、株式会社ヒロコレッジを設立。円と直線のみで表現される図柄を特徴とし、身近に存在する固定観念を覆し、思いを巡らせるきっかけを生み出すことをコンセプトに活動。着物に新たな視点で向き合うためのポートレート作品や、様々な産地や職人と共にもの作りを行なうプロジェクト「HIROCOLEDGE」など、ジャンルの垣根を越えた幅広い表現活動を行なっている。



企画/プロデュース SHU HAGIWARA 萩原 修

デザインディレクター
1961年生まれ。東京国立育ち。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。
大日本印刷、リビングデザインセンターOZONEを経て、2004年に年独立。
日用品、展覧会、展示会、店舗、書籍、ウェブサイトなどを企画・プロデュース。また、中央線デザインネットワーク、コド・モノ・コト、かみの workshop、国立本店、西荻紙店、てぬコレなどの独自のプロジェクトを企画推進。



昔ながらの町並みが残る岐阜県的美濃市には、1300年以上の歴史を誇る和紙づくりの伝統があります。丈夫で風合い豊かな紙として知られる美濃和紙。3120では、現代の暮らしの中に生きる道具としての美濃和紙の在り方を提案しながら、1000年先の未来へと続く紙の進化をめざします。

プレス問合せ先 : 3120・広報窓口 株式会社ハウ 小池美紀 Mail miki@how-pr.co.jp Mobile 080-4067-1249
読者問合せ先 : 古川紙工株式会社 〒501-3784 岐阜県美濃市御手洗東谷 23 番地
Tel 0575-37-2319 <http://3120-minowashi.jp/product.html>